

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	34 バス事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	企画部		
	基本計画【施策】	5－⑤利用しやすい公共交通					担当課	市民協働課			
関連予算科目	一般	会計	02	款	総務費	01	項	総務管理費	08	目	交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		公共交通推進費			細事業名 (事業2)		バス事業		
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象		全市民			
事業期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度		－					
事業の目的	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境の確保を図る。特に、高齢者、通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する。										
事業の概要	市民の通勤通学や通院、買い物の為の利用の利便を図るため、コミュニティバスを運行する。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			・各地区からＪＲ駅へ運行する6路線を車両5台で運行するコミュニティバス事業の実施 ・鷺津地区内を循環する路線を10月から運行開始した。					
課 題			・前年度と比較して利用者は増えていない。 ・運行内容が知られていない。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（Ａ）	当初予算額	50,179 千円		62,102 千円		67,423 千円	
		決算（見込）額	49,910 千円		55,872 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	49,910 千円		55,872 千円		67,423 千円	
	人件費（Ｂ）		5,559 千円		7,083 千円		8,095 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.75 人		0.94 人		1.07 人	
トータルコスト（Ａ）＋（Ｂ）			55,469 千円		62,955 千円		75,518 千円	
活	内 容		単 位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
動 指 標	コミュニティバス年間利用者数		人	目標	90,000	90,000	90,000	
				実績	82,317	79,946	千円	
			達成度		91.5%	88.8%		

3. 評価(Check)

総合判定	B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」	
	《判定理由》 需要の少ない地域や交通空白地域となっている地域の対応を検討する必要があるため。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	バス運行計画に基づき、市内7路線でコミュニティバスを運行している。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	36 地域公共交通対策事業									
総合計画	めざまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	企画部		
	基本計画【施策】	5－⑤利用しやすい公共交通					担当課	市民協働課			
関連予算科目	一般	会計	02	款	総務費	01	項	総務管理費	08	目	交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		公共交通推進費			細事業名 (事業2)		地域公共交通対策事業		
実施主体	市	実施方法		一部又は全部委託		対象		全市民			
事業期間	開始年度	－		終了予定年度		－					
事業の目的	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る。										
事業の概要	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進行管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			地域公共交通会議の開催（4回） バス運行評価改善委員会の開催（3回） 路線退出に伴う自主運行バスの運行					
課 題			・利用者増につながっていない。 ・運行内容等の見直しにつながるための現状把握の方法の工夫が必要。 ・運行内容が正しく伝わっていない。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	10,004 千円		19,233 千円		14,829 千円	
		決算（見込）額	11,253 千円		14,403 千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	11,253 千円		14,403 千円		14,829 千円	
	人件費（B）		4,437 千円		7,083 千円		7,083 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.60 人		0.94 人		0.94 人	
トータルコスト（A）+（B）		15,690 千円		21,486 千円		21,912 千円		
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	地域公共交通利用圏域		%	目標	86	86	86	
				実績	86	86		
			達成度		100.0%	100.0%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》	
	市・運行事業者による運営事務局を中心に取組体制を構築し、コーちゃんバスの改善につなげている。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	コーちゃんバス運行内容を評価し改善するための評価改善委員会を開催し、改善報告書を取りまとめ、次年度への運行内容の見直しに反映させた。 連携計画に代わる形成計画を策定する。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	37 天竜浜名湖鉄道対策事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	企画部		
	基本計画【施策】	5－⑤利用しやすい公共交通					担当課	市民協働課			
関連予算科目	一般	会計	02	款	総務費	01	項	総務管理費	08	目	交通安全対策費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		公共交通推進費			細事業名 (事業2)		天竜浜名湖鉄道対策事業		
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象	全市民			
事業期間	開始年度	－		終了予定年度		－					
事業の目的	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る。										
事業の概要	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイレール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで、経営を長期安定化する。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績			天竜浜名湖鉄道経営助成基金への負担金 天竜浜名湖鉄道市町会議での利用促進 小学校新入学記念乗車切符の助成事業 敬老記念乗車切符の助成事業					
課 題			市町会議が実施する施策や各種イベントが、必ずしも利用促進につながっていない。小学校新入学記念乗車切符の利用率が悪い。					
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	事業費（A）	当初予算額	23,347 千円		18,588 千円		17,647 千円	
		決算（見込）額	22,849 千円		18,093 千円		千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源	22,849 千円		18,093 千円		17,647 千円	
	人件費（B）		1,853 千円		2,024 千円		2,024 千円	
	人工（職員数の内訳）		0.25 人		0.27 人		0.27 人	
トータルコスト（A）＋（B）			24,702 千円		20,117 千円		19,671 千円	
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	市内乗降客数		人	目標				
				実績	322,370	322,096	千円	
					達成度			

3. 評価(Check)

総合判定	B 「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」 《判定理由》	
	沿線住民のための大切な交通手段として、維持すべき公共交通であるため。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	各種施策やイベントが継続的な利用促進につながるよう工夫が必要。 他の公共交通機関との相互連携を促進する必要がある。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	415 新所原駅周辺まちづくり事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち					担当部	都市整備部		
	基本計画【施策】	5－⑤利用しやすい公共交通					担当課	都市計画課			
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	04	項	都市計画費	01	目	都市計画総務費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		都市計画総務関係経費			細事業名 (事業2)		新所原駅周辺まちづくり事業		
実施主体	市	実施方法		市が直接実施・運営			対象		その他		新所原駅周辺及び駅の利用者
事業期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度		平成30年度					
事業の目的	新所原駅周辺の整備を推進することにより、交通利便性の良いまち、安心安全なまちづくりを行う。										
事業の概要	JR委託による自由通路新設及び橋上駅舎化事業、北口駅前広場暫定整備工事及び土地購入と物件移転補償を行い事業の推進を図る。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績		自由通路新設及び橋上駅舎化委託業務 一式 自由通路新設等に伴う天浜線に係る委託業務 一式 北口駅前広場暫定整備工事 A=624㎡ 駅前広場等用地契約 A=757㎡					
課 題		事業予算の確保 コスト削減					
コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	事業費（A）	当初予算額	195,728 千円	541,415 千円	1,392,789 千円		
		決算（見込）額	637,510 千円	689,929 千円	千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	254,010 千円	319,354 千円	712,750 千円		
		一般財源	383,500 千円	370,575 千円	680,039 千円		
	人件費（B）		29,893 千円	26,618 千円	26,618 千円		
	人工（職員数の内訳）		3.96 人	3.55 人	3.55 人		
トータルコスト（A）＋（B）		667,403 千円	716,547 千円	1,419,407 千円			
活	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
動 指 標	辺施設整備の全体計画に対する整備率（累		%	目標	20	40	74
				実績	26	40	
			達成度	130.0%	100.0%		

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 JRとの工事協定により、H28年度までに自由通路及び橋上駅舎の整備を完了する必要がある。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	新所原駅周辺整備事業寄付金を広く募集。社会資本整備総合交付金を活用。